

平成 27 年 9 月 25 日

四国森林管理局長 殿

四国森林管理局国有林材
供給調整検討委員会委員長

平成 27 年度第 2 回四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会の
検討結果等について

四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会運営要領の 2 の規程に基づき、平成 27 年度第 2 回四国森林管理局国有林材供給調整検討委員会を平成 27 年 9 月 18 日に実施したので、その検討結果を報告する。

1 検討結果について

データから算出された指標では、通常の変動を逸脱したような状況は見受けられなかった。

その上で、各委員からは、

- ・ 事業地の確保が重要であり、その為に民国連携による団地化に取り組んでいる。
- ・ 素材生産量は昨年並みの確保が見込まれるが、製材品の動きが心配。
- ・ 製品市況は本年 6 月が最安値で 7～8 月に持ち直してきている状況。
なお、構造材は昨年より厳しい状況であり、造作材は昨年とほぼ同程度で安定している。
- ・ 原木市場は、価格の低迷と入荷量の減少で厳しい状況。
- ・ 製材品の地産外商を推進する上で、工務店への差別化が必要となっている。

等の報告があった。

従って、国有林としては、今後も市況動向等を注視しつつ木材の安定供給を行い、需給の安定、需要の拡大、地域の振興に向けて努めることとする。

なお、現時点では、国有林材の供給調整を行う必要はないと考える。

2 供給調整の実施方法

該当なし。

3 その他

特になし。